

【導入事例】介護業界のDXを推進する介護サブリ 「Backlog」で会社設立を実現、社内外が繋がる業務基盤を構築

株式会社ヌーラボ（本社：福岡県福岡市、以下 ヌーラボ）が提供するプロジェクト・タスク管理ツール「[Backlog](#)」は、介護業界向けの業務システム・アプリを提供する[株式会社介護サブリ](#)（本社：兵庫県神戸市、以下 介護サブリ）に導入され、会社設立の段階からアプリ開発、カスタマーサクセス、社外パートナーとの連携に至るまで、幅広い業務を支える運営基盤として活用されています。

介護サブリでは、社員2名で臨んだ「会社設立」プロジェクトの管理からBacklogの活用を開始。以来、アプリ開発から顧客管理、販売代理店との協業までを同一の環境に集約し、社内外の関係者が共通の情報をもとに業務を進める体制を構築しています。



※以下、事例取材記事『[「会社設立」もBacklogで管理。社内外のステークホルダーとワンチームで進むプロジェクト運営術](#)』よりコメントを抜粋・編集・再構成。

■ 「Backlog」を導入した背景

介護サプリは、[神戸デジタル・ラボ](#)社の社内プロジェクトから誕生した、介護業界向けの業務システム・アプリを提供するITベンダーです。現場目線にこだわった「ケア記録アプリ」や「持ち物チェックアプリ」などを開発・提供しており、近年は介護現場の負担を減らす「DX支援」にも注力しています。

2018年に株式会社介護サプリとして法人を立ち上げる際には、社員2名という少人数体制ながら、膨大なタスクの管理が必要でした。Backlog導入以前は別のプロジェクト管理ツールを使用していましたが、運用負荷が高かったため、関連会社でも利用していたBacklogへ移行し、「会社設立」プロジェクトの管理として活用を開始しました。

■ 「Backlog」を活用した取り組み

「会社設立」のタスクを一元管理し、少人数でも設立を完遂

法人設立に伴う各種確認や利用規約の作成、Webサイトの制作など、多岐にわたるタスクをBacklog上で一元管理。カテゴリとマイルストーンを活用しながら整理することで、2名という少人数体制でも抜け漏れなく会社設立を完遂しています。

販売代理店との情報共有を一本化し、社外パートナーとの連携を強化

販売代理店との協業において、アカウント発行依頼や契約関連のやり取り、運用ルールや各種テンプレートをBacklogに集約。実際に顔を合わせる機会が限られていても、お互いの仕事の状況を把握できるため、日常的な信頼関係の構築にもつながっています。

情報と判断の経緯を共有し、自律的な業務運営を実現

アプリ開発やデザイン業務では、機能や画面ごとに課題を作成し、進捗管理やレビュー依頼、不具合管理を実施しています。また、開発チームの定例会議の議事録もBacklogに蓄積されており、会議に参加していないメンバーも必要に応じて内容を確認できます。

課題や議事録に議論・決定の経緯が残ることで、「なぜその仕様になったのか」「現在どのような検討が進んでいるのか」を後から把握することが可能となり、部門を越えた連携や自律的な意思決定につながっています。

■ 株式会社介護サプリア 担当者のコメント



左) シニアマネージャー内海氏 右) デザイナー藤稿氏

もしBacklogがなかったら、ユーザー対応の情報がメールやチャットなど複数のツールに分散し、全体の進行状況を把握できなかったと思います。Backlogがあることで、非同期で動く販売代理店のサポート担当者とも処理状況を可視化しながら業務を進められます。実際にお会いするのは年に1~2回程度ですが、お互いの仕事ぶりが見えているおかげで、毎日一緒に仕事をしているような感覚で強い信頼関係を築けています。

もう一つの魅力は、非エンジニアにも親しみやすいUIです。ITツールに不慣れなメンバーでも迷わず自ら情報を探しに行き、自然に状況を理解してくれます。誰でも迷わず使えるやさしさこそが、Backlogの大きな価値だと感じています。